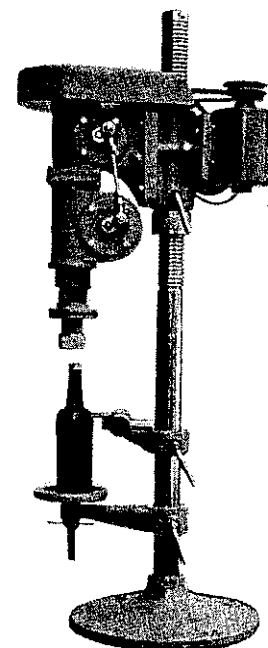
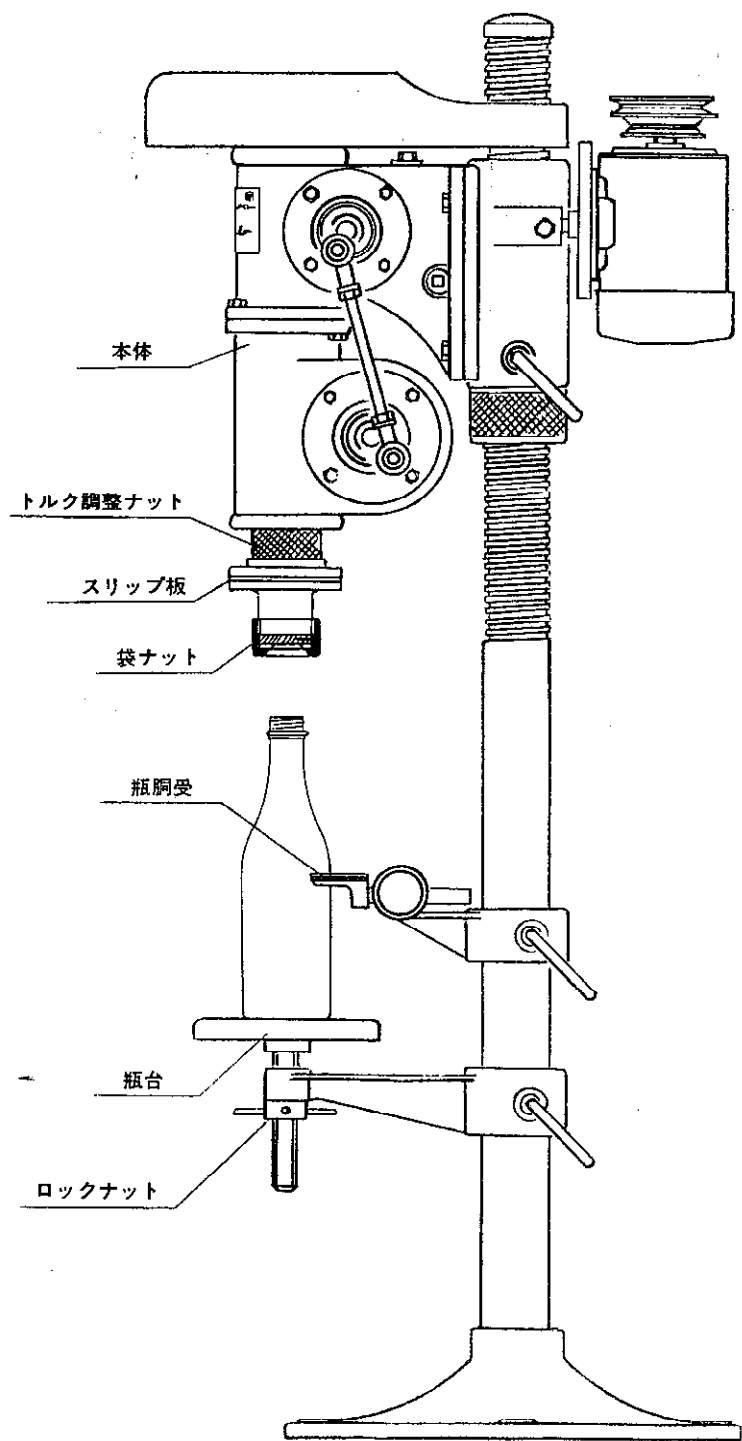


R型スクリーキャッパー

取扱説明書



株式会社レイメイ製作所

回転方向

プーリーが矢印の方向に回転する様に配線して下さい。

構造

スイッチを入れると、スロートは回転しながら常時上下運動を繰り返します。

スロートが上がった時、キャップをかぶせた瓶を瓶台に乗せ、瓶をそのまま握っていると、スロートが下がり、キャップを締めます。

キャップが締ると、ヘッドの部分は回転が止まります。

瓶台の高さの設定 (第1図) (第2図)

- ① プーリーを手で回して、ヘッドが最も下がった状態にし、瓶を横に置いてみて、第1図の様な高さの関係になる様に瓶台の高さを決めます。
- ② プーリーを回し、スロートを少し上げて第2図の様に瓶を置き、瓶胴受を前後左右に調節して、キャップがヘッドの中心にくる様にします。
- ③ スイッチを入れ運転してみます。スロートが下がっても締めゴムがキャップに触れない時は、瓶台を回して徐々に上げてゆきます。
キャップは締めゴムに触れて回転し、締りますので、必要以上に押さえすぎないようにして下さい。

注意

締めゴムは表面が汚れると、スリップして、締りが悪くなりますので、時々シンナーで表面を拭いて下さい。

締めトルクの調節 (第2図)

止ネジをゆるめ、トルク調整ナットをスロートが回転している方向へ回すと、この中のスプリングがクラッチ板を強く押さえるのでキャップが固く締る様になり、反対方向へ回すと弱くなります。調節後は止ネジを締めます。

このスプリングを必要以上に締めると、キャップが締っても、ヘッドが停止せず、締めゴムの摩耗を早めますのでご注意ください。

